

第5次津島市総合計画策定 に関する

つしま未来会議 結果概要

■ねらい

現在、津島市で進めている新しい第5次総合計画の策定に向けて、市民の皆さんと一緒に、「これから10年間の津島市のまちづくり」について、子育てや教育、福祉、防災、にぎわいなど様々な観点から生活者の視点で自由に話し合い、今後求められる具体的なまちづくりのアイデア、市民主体の取組などについて考えます。

全3回の会議で話し合った内容を踏まえ、今後の策定作業を進めていきます。

■スケジュール

回	日程	内容
①	9月7日（土）	ガイダンス、総合計画に関するレクチャー、津島市の現状について検討
②	10月5日（土）	津島市の10年後の理想の将来像を検討
③	10月26日（土）	市民主体のまちづくりの取組について検討

[第1回]

09:30～ 1. 開会・あいさつ、ガイダンス 10分



09:40～ 2. アイスブレイク 10分

09:50～ 3. ミニレクチャー「総合計画って何だろう」45分

講師 三浦哲司 先生

名古屋市立大学人文社会学部准教授

名古屋市立大学

都市政策研究センターコーディネーター



10:30～ 休憩 (10分)

10:45～ 4. 津島市の概況や、市民のまちへの想いを共有しよう！ 15分

基礎データや市民意識調査結果から、津島市の現状や市民のニーズなどを説明して、参加者の理解を深めました。

10:45～ 5. グループワーク「津島市の“自慢・好き”と“不満・嫌い”」45分

身近なまちや暮らしの中で感じている、津島市の「自慢・好きなところ」や「不満・嫌いなところ」を生活者である市民の視点から自由に意見交換しました。



12:05～ 6. 発表とまとめ 20分

各グループの意見交換の内容を発表しあい、共有しました。



12:25～ 7. 事務連絡、その他、閉会 5分

【第1回意見まとめ】

グループワーク「津島市の“自慢・好き”と“不満・嫌い”」の意見まとめ

4つのグループにわかれて、身近なまちや暮らしの中で感じている「自慢・好きなところ」と「不満・嫌いなところ」を生活者である市民の視点から自由に意見交換しました。

1. 各グループの「自慢・好きなところ」と「不満・嫌いなところ」トップ3

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
自慢・好き ベスト3	歴史豊かな街並みと まつりの多い古い街	歴史・まつり	名古屋と行き来し やすい(10代)	伝統文化・祭
	自然豊かな子育て しやすい街	地域活動	歴史的シンボルが 多い(ナイスドル)	保育と治安が イイ!
	落ち着いた雰囲気 で学生が育つ街	生活しやすさ	天王川まつり (人生の先輩)	交通の便の良さ
不満・嫌い ワースト3	交通インフラ	駅前周辺が寂しい	歩道が悪い・企業が 少ない(人生の先輩)	津島駅とその周辺
	PR不足	災害	子育て支援がいま いち(ナイスドル)	公共施設の整備
	若い世代の転出	施設の老朽化	祭をもっと大き く!(10代)	お店が少ない

2. 出された主な意見(第4次総合計画の施策分野ごとに整理)

(1) 市民とともに歩む自立した行政経営

	【自慢・好きなところ】	【不満・嫌いなところ】
地域 コミュニティ	・地域内に人のつながりがある ・優しい人、人生の先輩がいる	・自治会参加率の低下(特に若い世代) ・小中学生のあいさつが少ない
地域活動	・市民活動が盛ん ・地域ボランティア活動が多種多様	・公共施設の老朽化、活動の場不足 ・女性活動の場が明確でない
市民と行 政の協働	・「つしま未来会議」のような取組がある ・市役所職員が親切	・他の自治体との格差が心配 ・市民に対する市職員の態度が高圧的

(2) 健やかにいきいきと暮らせるまち

	【自慢・好きなところ】	【不満・嫌いなところ】
子育て 環境	・保育施設が多い ・放課後の子どもの受け入れ先がある	・中高生対象の子育て支援が少ない ・子育ての経済的負担が大きい ・子どもの居場所、遊び場がない ・若い世代の人口流出、少子化
学校 教育	—	・学校施設の老朽化 ・学校に空調設備が整っていない ・大学・専門学校が市内にない
高齢者支援	・高齢者サロンが多い(健康講座など)	・健康講座受講後の活動受け皿がない
地域医療 ・福祉	・産科病院が3つある	・市民病院の小児科に入院できない ・医療費・介護保険料が高い

(3) 生活と産業の調和した安心・安全なまち

	【自慢・好きなどころ】	【不満・嫌いなどころ】
まちの賑わい	—	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗の増加 ・レジャー施設が少ない
交流産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市外からの観光客を温かく迎える ・ゲストハウスが3軒ある ・お茶の文化がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・天王祭の観光客が飲食・休憩場所がない ・名産品が少ない、魅力的な物がない ・シティプロモーションの積極性に欠ける
商工業	—	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や働く場所が少ない ・チェーン店の台頭で地元店舗が衰退
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・空気が良く、田園風景や自然が豊か ・まちがきれい、ごみが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラスが多い
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・治安が良い ・昔に比べてまちが明るくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市町に比べて治安が悪い ・防災無線がないなど災害への備えが不足 ・街灯が少ない

(4) 豊かな心と文化を育むまち

	【自慢・好きなどころ】	【不満・嫌いなどころ】
津島の文化	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産の天王祭がある ・抹茶文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・祭が天候の影響等で延期ではなく中止になってしまう ・祭の花火が小さい
生涯学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本がきれい 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の老朽化 ・公共施設配置に偏り（地域差）がある

(5) 快適な暮らしを支える基盤の整ったまち

	【自慢・好きなどころ】	【不満・嫌いなどころ】
暮らしの場としてのまち	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎過ぎず、都会過ぎない ・歴史ある古い町並み ・神社、寺が多くゆったり静かなまち ・最近市街地に店舗が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者にとって楽しい、おしゃれと感じる場所が少ない ・下水道が完備していない
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋へのアクセスが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共交通が不便 ・津島駅以外の駅が小さく利用しにくい
道路	—	<ul style="list-style-type: none"> ・道路・歩道の整備が不足 ・車優先の道路施策
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が広く緑が豊か ・天王川公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園での行事が少ない ・公園が寂しい



[第2回]

09:30～ 1. 開会・あいさつ、ガイダンス 15分

09:45～ 2. 情報提供「津島市の現状と課題」 15分
各種調査結果や第1回未来会議のご意見をもとに、津島市の現状と課題について学習しました。



10:00～ 3. グループワーク①「10年後の理想の将来像」 45分
・希望するテーマに分かれてグループをつくり自己紹介
・各テーマにおける「10年後の理想の将来像」を検討しました。

■検討テーマ

①子育て・教育・若者・女性

(子育て支援、学校教育、若者の居場所、女性活躍 等)

②健康・福祉・人づきあい

(高齢者・障がい者、医療・介護、健康づくり、地域活動 等)

③歴史・文化・観光

(まちなみ、文化財、祭り、生涯学習、観光・交流、商業・飲食 等)

④生活環境・安全安心 (自然・環境、道路、公園、防災・防犯、交通安全 等)

10:45～ 休憩 (10分)

10:55～ 4. グループワーク②「将来像を実現するための取組アイデア」 45分
将来像を実現するために必要な取組アイデアを自由に検討しました。



11:40～ 5. 成果共有タイム 10分

11:50～ 6. グループワーク③「市民協働プロジェクトの検討」 15分
第3回に詳細を検討する「自分たちがやりたいこと・できること」(市民協働プロジェクト)の取組アイデアを2～3案に絞り込む

12:05～ 7. 発表とまとめ 20分

12:25～ 8. 事務連絡、その他、閉会 5分

【第2回意見まとめ】

①子育て・教育・若者・女性（子育て支援、学校教育、若者の居場所、女性活躍 等）



②健康・福祉・人づきあい（高齢者・障がい者、医療・介護、健康づくり、地域活動 等）



③歴史・文化・観光（まちなみ、文化財、祭り、生涯学習、観光・交流、商業・飲食 等）



④生活環境・安全安心（自然・環境、道路、公園、防災・防犯、交通安全 等）



<①子育て・教育・若者・女性>

大タイトル	中タイトル	取組アイデア	期待される成果・効果
子どもを産み育てやすい	子育て関係の活動や団体の情報共有	屋外・屋内で遊べる充実した施設をつくる	
		3人目以降生まれたら優遇税金の軽減	転入者増
		民間の子育て世代の子育て支援団体を発足、発進	情報共有・認知
		子育て支援センターや産院、児童館での産後ケアクラス	産後ケアに対する理解
	プレーパーク	プレーパーク	生きる力を育てる
	住宅補助	新築に補助を出す	
地域ぐるみでつながりを支える安心な環境	空き家	空き家を地域交流の場にする	
	学校と地域の連携	地域に開かれた学校	
		学校を地域との連携を強化する	
		学童保育を増やす、地域に開かれた学童に	
		公と民の関連する取り組み	
世代間交流	楽しく世代をつなげる	先輩からの理解を得る	ふぁみサポ
		親の交流の場づくり	
		高齢者の日常生活を子どもがサポートする仕組み	
		未来会議のような取り組みを広げていく	世代がつながる
		地区で行うスポーツ大会を増やす	地域の交流の幅が広がる
		寺院仏閣での交流事業、茶会、囲碁、将棋、文化教室	相互交流、楽しみ向上に
		まちに開かれた家を増やす	地域の世代間交流
	若者の活躍	若い世代が主導になった行動を起こす	若い世代の人が中心で運営しているまちなら住みやすいのではないかな
		若者が先生になってスマホの使い方を指導	
中高生、大学生が小学校の居場所を作る			

<②健康・福祉>

大タイトル	中タイトル	取組アイデア	期待される成果・効果
子ども若者子育て家庭	若者文化を活性化	職業体験の機会を増やす	今ある仕事の職人を増やす
		若者などが津島市の祭りや文化など SNS にのせて発信	魅力と感じた観光客の増加
		太鼓教室など地域の人が学べる場所を提案する	興味を持つ人たちを集められる
		学校教育の中で親を大切にする、弱者に思いを寄せる	大人になってからその思いが伝わる
	公園、安心安全な場所に	公園に防犯カメラ	子どもが安心して遊べる
		公園にベンチや机の設置	子どもが遊具などで遊ぶ以外にもゲームやおやつなどを食べることなどに使えて公園を利用する機会が増える

		公園に安全な遊具の設置	子どもがアクティブに遊べて運動能力を養う
		定期的に公園でイベント	子どもや高齢者の交流の場となる外国人も
		子育て支援の場を多くする、一般の経営の支援を増やす	母親の孤独感、子育て不安をなくす
地域のすべての人	健康・娯楽	健康、娯楽施設をつくる	津島の人も外部の人も楽しめる
	地域のリーダーを	地域のリーダーになる人を増やし市との連携をとる	身近な人がリーダーだと参加しやすい
		空き家など「市に無料でもゆずりたい」人がいるかどうかを調べる	地域活動のできる場所が見つかる
		名古屋国際センターのような外国人の人が情報を得やすい場を知らせる	国際交流しやすい
高齢者	運動したくなる環境	パターゴルフ場をつくる	体を動かすきっかけとなる、家族でも楽しめる
		卓球のできる場所を高齢者に知ってもらう	運動する機会が増え交流も増える
		公園内に気軽に散歩ができるような道を作る	若者はランニングもでき、高齢者には健康面でも Good
		高齢者の運動の場の提供を増やす	高齢者の健康維持、認知症予防
	みんなが集まる喫茶店	チェーン店ではなく市内だけの喫茶店を作る	一人暮らしをしている高齢者の集いの場となる、ゆっくりできる
	高齢者の働く場	高齢者の働く場所の提供	定年を迎えた人の安心感、気力の活性化、働き続けることで認知症予防、体力維持
	バスを使いやすく	ふれあいバスの運行の見直し	買い物がしやすくなる、イベント等に参加できる
		バスの運行を多くする 市で行う行事も市内中心部だけではなく地域巡回で行う	多くの人利用しやすくなり、高齢者も家でこもることがなくなる
	いきがい	趣味のグループを助成する	参加することで一人でないことを実感する
	ファミサポで高齢者支援	ファミリーサポートは子育て世代のためだけではない、PR活動	高齢者の生活範囲を広げられる

<③歴史・文化・観光>

大タイトル	中タイトル	取組アイデア	期待される成果・効果
いきたくなる	活躍、参加⇒PR	自分が活かされるような場所づくり	役に立てることがあると自分が満足できる
		津島の魅力を大きくPRする（歴史、祭り、図書館など）	興味を持った人が津島に来る
		天王祭りをいろんな人がきて楽しんでもらえる	天王祭の前後に津島の良いところを知ってもらう

		駅前と天王通りを活性化して津島以外でもPR活動をする	他の地域から来てもらえる	
		藤の数を増やして日本一にしてアピール	行きたくなる	
自慢したくなる	歩く⇔案内⇒宿泊	古民家の整備をして常にイベントや趣味の教室を開く、そのチラシを名古屋駅に置く	興味のある人が集まる	
		名鉄と協働でウォークラリーをする（今でも祭りのときは2ヵ月に一回は開く）	他地域の人が参加して津島市の良さが広がる	
		朝祭りをもっとPRする	宿泊客が増える	
		四国のお遍路や知多の八十八所めぐりのように津島めぐりを宣伝する	めぐる先で買い物をしてもらえる	
		駅や天王通りに案内板を設置	ひとりでぶらりと来た人でも興味を持つ	
		駅前を明るく神社までの道をきれいなレンガでバリアフリーに	ちょっと歩いてみようかという気分になる	
		天王祭り、秋祭りをアピール、有名人に体験してもらう。開催日以外はVRで体験する	行きたくなる	
		学ぶ場をたくさん作る、市民講座、大学の先生	津島を知ってもらえる、来る用事を作る	
		天王通りを食べ歩きロードにする	発信したくなる	
	若者向けIT講座をやる	便利なものを開発		
	経済効果	天王通りなどのシャッター街を流行の観点から新しいお店をおき、再び元気にする	人が増え、経済効果も見込める	
		観光ルート上に面白いお店、そこでしか買えないお店を誘致	食う、寝る、食べるがそろって一日楽しめる	
		空き家、古民家を使ったオフィスづくり、企業誘致と創業支援	まち中に会社が増えると飲食店も増える、地域活動が増える	
		中高生、大学生の商売体験、アイデアコンテスト	津島で5~10年後チャレンジする人が増える	
		古民家利用⇒専門学校誘致		
		市民、若者が使える場の開放をする、高校生のブース		
	住みたくなる	永和駅の北に住宅を	空き家を増やし、子どもや高齢者のための施設、企業などを増やす	活気が出る、人が住みたいと思ってくれる
		まつり	祭りへの参加をしやすくする	住みたくなる
健康づくり		各年代の健康イベントをたくさんやる	健康なまち	

<④生活環境・安全安心>

大タイトル	中タイトル	取組アイデア	期待される成果・効果
ゴミ	ごみ	ごみ出しのルールを守れるようにする	カラスによる被害が減る
		IT化、ごみの分別をQRコード	わかりやすい
災害による死亡者を出さない	避難場所	避難場所をアピールして誰もがわかるようにする	速くひなんできる
		避難場所を分かりやすくどのタイミングで避難するのかを明確に	ひなんしやすい
	自宅避難の安全	新築・改築時に耐震等級が一つでも上がるように補助を出す	

歩行者・自転車が安心して通行できる		街灯を増やす	夜歩きやすく、車からも見つけやすい	
		セッバックによる歩道幅の確保	ベンチ、花壇、植樹などの整備であたたかみのある歩道の利用が増える	
	危険箇所をスマホでアップ	IT化、インスタ利用、危険部分のアップロード	手間の軽減、ハードルを低く	
みんなが集まる公園	地域で育てる公園	バーベキューができる場所の確保		
		都市公園活用計画の推進	使いやすい公園	
		町のそうじボランティアを学校中心によびかける	ボランティアだから予算がかからない	
		ボランティア窓口をまとめる（他地域からも参加できる）		
		公園の整備、ベンチの修理、遊具を減らす	子どもが遊びやすい、大人の目で見守りやすい	
来訪者にとって安全なまち	道路の危険度	冠水道路に色付け	普段の利用者への意識付け、外からの利用者への注意	
	企業との協力	企業との協力	防災関連の企業を集める、誘致、財政負担の軽減	
IT都市	健康チェック、安否確認	IoTを活用した遠隔医療	毎日の健康チェック、安否確認	
		AI、IoTの活用、導入を計画的に推進	人に気もかからない住みやすいまちの実現	
	PR動画の発信	PR動画やインスタのアカウントを作る	外から来るが増える	
	税収の確保・対策	ふるさと納税の利用		財政軽減
		企業を呼び込む		税務的なサービスを行う
		行政によるチェック		違反が減る
	財政を豊かにする		行政施設に商業を入れる、行政の無駄をチェックする	

[第3回意見まとめ]

09:30～ 1. 開会・あいさつ、ガイダンス 15分

09:40～ 2. グループワーク「市民協働プロジェクト 提案」 90分

第2回で考えた取組アイデアの中から、自分たちがチャレンジしたいことを「市民協働プロジェクト」として検討し、未来新聞にとりまとめる。

- ①テーマの確認（5分間）
- ②新聞のネタ（企画骨子）づくり（30分間）
- ③未来新聞づくり（50分間）
- ④発表にむけた作戦会議（5分間）



11:10～ 3. 成果発表・共有 25分

- ・各グループ3分で発表
- ・自由に見て周り成果を共有



11:35～ 4. 講評・ふりかえり 20分

- ・三浦先生から講評、意見交換
- ・グループでふりかえり



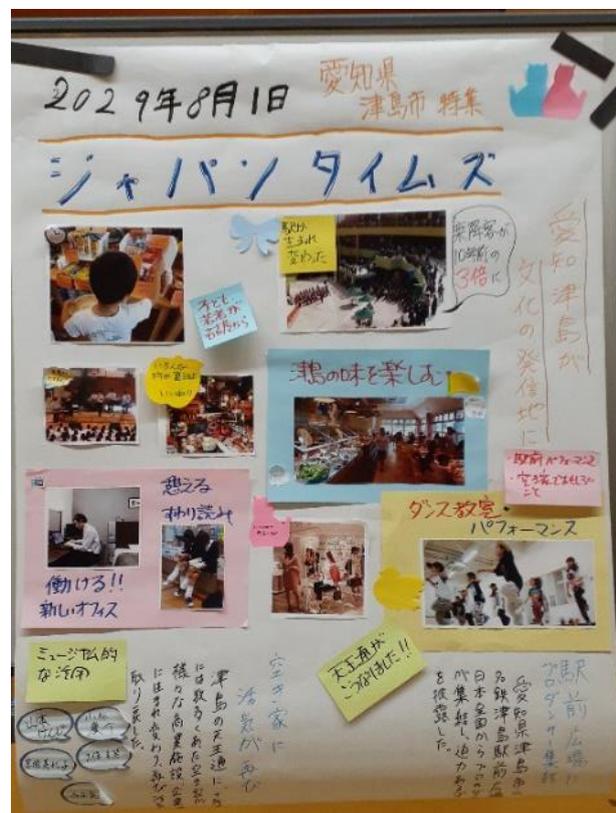
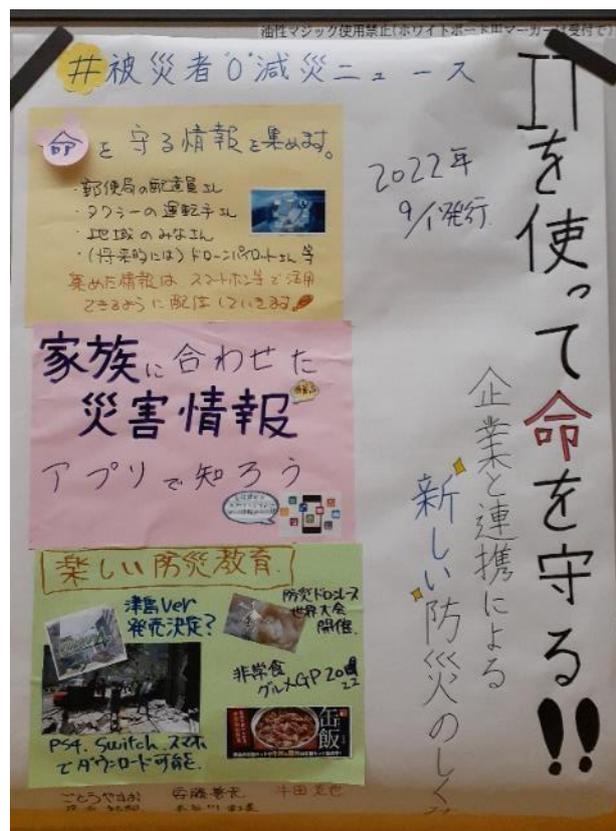
11:55～ 5. 私発！「まちづくり宣言」 20分

12:15～ 6. 市長あいさつ 10分

12:25～ 7. 記念撮影、閉会 5分



【第3回意見まとめ】



こんな取組・活動をやってみたい… 私発！まちづくり宣言（個人名は省略）

	まちづくり宣言
1	防災グッズにどんなものがあるのか調べる
2	人との出逢い大切に今日一日感謝します。子供～大人まで笑顔あいさつ
3	津島の良いところを周りに伝え、参加できる活動に積極的に参加したい
4	津島と二輪文化の歴史を 100 年先の未来につなぐ
5	公園に植栽・芝張りを行い、子どもたちが安全に遊べるスペースを作成したい
6	活動している自主防災組織の編成。（U-60 による組織化）
7	津島の良さ、見所など、いろいろなことを世界中に向けて大きく PR していく
8	地域や市でのワークショップ等に参加し横のつながりを気付き私でもできる小さなことを増やしたい
9	地域・国を超えたつながりと事業を創る
10	明日から、出会ったまちの人にあいさつを
11	高校の授業で地域について考える機会を増やす。若者議会発足支援
12	津島市民に自分からあいさつ！津島の今後の活躍に期待する！見守る、そっと
13	自己肯定感を育む居場所づくり、地域活動に子どもが参加できる提案、子どもが自分で生きる力を育む
14	地域のリーダーとなり高齢者の孤独をなくす様活動したい
15	とかいなか＜都会・田舎＞"グレート・つしま"、リバイバル"寺子屋"、オール津島"文化スポーツ競技"競争&報酬
16	津島の特産品（農産物、園芸品）の考案とそれに携わる高齢者の収集（やりたい人集合）
17	おもてなしコンシェルジュ活動を充実し、津島の好感度アップを目指します！
18	貸してくれる空き家があれば、みんなが集うサロンを開いてみたい
19	子どもも大人も過ごしやすい避難場所